

令和8年

3月

# 佐伯高校

全員主役!

No.23 地域支援員だより



## Topics 1 地域吹奏楽団「さいきブラス」

2月5日（木）、地域吹奏楽団「さいきブラス」の練習会場を訪問しました。この団体は、昨年佐伯中学校吹奏楽部の部員数が減った際に学校行事などで地域の大人と一緒に演奏したことをきっかけに、「子どもたちと演奏できる機会をつくり、吹奏楽で地域を元気にしたい!」という佐伯に関わる方々の思いから生まれました。佐伯中学校や佐伯高校も、楽器の無料貸し出しなどを通して活動を支えています。

当日は佐伯高校の生徒も2名参加しており、初めて参加した生徒は最初こそ緊張した様子でしたが、演奏が始まると「楽しい～」と笑顔を見せていました。様々な年齢の大人と子どもが音楽を通して交流し、共に楽しむ姿からは、温かな地域性が感じられました。地域全体で子どもたちの学びや成長を支えようとする、佐伯らしい部活動のあり方を見ることができました。なお、定例練習は水と緑のまち さいき文化センターで行われており、第1・第3木曜日の18時30分から活動しているとのこと。



## Saeki Quest

### 一型糖尿病×スポーツ

1月14日（水）、今年初めての探究学習が行われました。

2年生の西 耕之介さんは、昨年度のテーマから探究内容を変更し、「一型糖尿病 × スポーツ」を新たなテーマとして探究をスタートさせました。一型糖尿病は、膵臓にあるインスリンを分泌する細胞（β細胞）が壊れてしまう病気です。生徒自身がこの病気と向き合いながら生活しており、同時に有望なアーチェリー選手として日々練習を重ねています。

糖尿病のある方の中には、「運動をすると低血糖で倒れるのが怖い」「運動によって補食が必要になり、高血糖になるのではないかと不安を感じ、運動自体を控えてしまう方も少なくありません。しかし生徒は「病気があってもスポーツはできるということを知ってほしい」という強い思いを持っています。

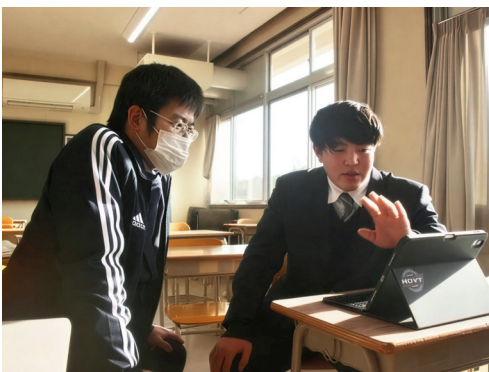
一型糖尿病の人は感染症にもかかりやすいため、日頃から血糖値の管理が重要になります。生徒は、「運動を取り入れることで、血糖値を自分で管理しようとする意識が高まる。病気を抱えているからこそ、スポーツを通して自分の体を理解し、管理する力を身につけていきたい」と話します。そして、この考えを身近な人たちにも伝えたいと考えています。

実際、アスリートの中にも一型糖尿病と向き合いながら競技で活躍している選手は多く、運動と血糖値の関係について情報を発信している方もいます。今後は、そうした事例をもとに下調べを重ね、他の選手が提唱している仮説が自分自身の実践でも同様に見られるのかを検証していく予定です。さらに、一型糖尿病を抱えながらスポーツで活躍している方へのインタビューにも挑戦したいと計画しています。

[生徒から皆様へメッセージ]

同じ一型糖尿病を抱えながら、スポーツを楽しみたいと考えている方と、ぜひお話ししたいと思っています。ご連絡は佐伯高等学校までお願いします。

佐伯高校 TEL : 0829-72-1185



令和8年

3月

# 佐伯高校

全員主役!

No.23 地域支援員だより

## SAEKI QUEST



### 海外の福祉ボランティアについて

2月4日(水)、「インドネシアの現状や医療機関について」を探究テーマにしている生徒が、看護師であり独立系FPとして活動されている佐々木さんからお話を伺いました。佐々木さんは先日、NPO法人JIYUの活動を通してフィリピンの子どもたちへ物資の寄付を行いました。生徒は「フィリピンの貧困層の多さに驚きました。海外の福祉について知ることは、日本にとっても良いことにつながると思います。実際に現地へ行き、自分の目で見てみたいです」と話しており、貴重な学びの機会となりました。



## 地域連携

### 卒業イベント 餅つき大会

2月5日(木)、卒業を間近に控えた3年生を祝う餅つき大会が行われました。この行事は、浅原の方々のご協力のもと実現したものです。餅つきが初めての生徒や、ぜんざいを初めて食べる生徒もあり、普段なかなか味わうことのできない貴重な体験となりました。つきたてのお餅は格別で、イベント終了時には「7個食べました!」「13個食べました!」と嬉しそうに報告してくれる生徒の姿が印象的でした。地域の方々との温かい交流の中で、卒業前の思い出に残る時間となりました。



## 女子硬式野球部

### 健康支援セミナー実施

2月11日(水・祝)、女子硬式野球部の第3回目健康支援セミナーが行われました。今回は元プロラグビー選手であり(株)NStyleホーム代表取締役の西村さんに講演を行っていただきました。選手一人一人の強さも重要である一方、それ以上にチームメイトを信頼してプレーできるか、また共通した目標を明確に共有できているかが、結果に大きく影響することについて、ご自身の体験談を交えながらお話いただきました。トップ選手としての貴重な体験談に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



## 地域連携

### 地域のオトナから学ぶワークショップ

2月14日(土)、「地域のオトナから学ぶワークショップ」を開催しました。今回は、合同会社とらぼの金澤さんを講師にお迎えし、廃材を活用したタイルコースター作りを通してアップサイクルを体験しました。また、「呑と干」という名前で写真と言葉の作品を制作されている川本さんご夫妻をお招きし、「自分らしく生きること」について一緒に考える時間を持ちました。地域で活躍する大人と直接出会い、対話することで、学校の外にも広がる学びの場があることを実感できた一日となりました。

